

質問回答【RFI】群馬県立学校次期ネットワーク環境整備に関する情報提供依頼

No	資料名	ページ	質問内容	回答
1	別紙2_学校NW機器、LAN工事一覧	—	本業務におけるPC教室1ブレースに関するスコープ範囲について確認させてください。以下の前提でよろしいでしょうか。 ・〇の対象校の部屋数欄記載の部屋に対する作業 ・室内LAN配線交換 ・SW(8P)、SW(16P)、SP(24P)のNW設計、設定、交換 ・サーバ、端末、プリンタの交換は対象外	ご認識の通りです。
2	RFI依頼書	3	教職員・共用校務端末<4,950台>は全てWindows端末でしょうか。異なる場合は、OS内訳をご教示ください。	すべてWindows端末となります。
3	RFI依頼書	4	既存機器・システム及び及び本調達により導入する機器・システムについて、将来的な更新時における撤去に係る費用とありますが、既存機器・システムとは具体的にどの範囲を指すのか、お示しください。	データセンター内機器全て、不要となった学校ネットワーク機器となります。
4	RFI依頼書	4	上記以外のネットワーク機器等が現地にあった場合も撤去の対象外とする前提でよろしいでしょうか。	継続利用する機器は撤去対象外となります。
5	RFI依頼書	4	廃棄事業者による回収を想定する、とありますが、既存機器・システムの廃棄は本プロジェクトのスコープ対象外の前提でよろしいでしょうか。	既存機器・システムの廃棄は本調達の対象外となります。
6	RFI依頼書	4	本調達により導入する機器・システムについて、将来的な更新時における撤去にかかる費用について、確認させてください。 次々期システム更新時に発生する作業となりますため、学校業務への影響を考慮すると、次々期システム更新業者の作業範囲としたほうがよいと思われませんが、本調達により導入する機器・システムの撤去の取り外し作業は本プロジェクトのスコープ対象の前提でよろしいでしょうか。	本調達により導入した機器・システム撤去は本プロジェクトの対象となります。
7	RFI依頼書	4	本調達により導入する機器・システムについて、将来的な更新時における撤去にかかる費用について、廃棄は本プロジェクトのスコープ対象外の前提でよろしいでしょうか。	廃棄は本調達の対象外となります。
8	RFI依頼書	4	実際の教職員、児童生徒数に対し、所有するライセンス数はかなり多いですが、その差異についてご教示ください。 可能性として、以下を想定しています。 ・1職員が複数のアカウントを使い分けている ・左記の学校以外（市町村等）の職員の利用が発生し、アカウントを発行している ・教職員にカウントできない業務従事者にアカウントを発行している（ALT、臨時職員等）	ライセンス数と教職員・児童生徒数との差異については、ご認識のとおり複数アカウントの利用や教職員・児童生徒以外の利用者へのアカウント発行に加え、年度途中の増減に備えた予備ライセンスの保有等、複数の要因によるものです。
9	別紙1_要件定義書	3	学校CMS、メール連絡網システム、DNSは別調達とありますが、認証連携・ネットワーク接続設計は本件対象に含まれますか	含まれません。
10	別紙1_要件定義書	3	要件定義書「1-1-5 端末」において、教職員にはWindows端末とChromebookを貸与されているとのことですが、ChromebookのMDMサービスは何を利用していますか。 また、本システム更改により、教職員はWindows端末1台運用になるという理解でよろしいでしょうか。	ChromebookのMDMはGoogle CEUとなります。 また、本システムの更改により、教職員はWindows端末1台運用となります。
11	別紙1_要件定義書	3	要件定義書「1-1-5 端末」において、教職員用Chromebookのライセンスの調達は不要でしょうか。 教職員用のChromebookは使わない（廃棄になる）想定でよろしいでしょうか。 生使用に流用する場合、MDMによる管理は必要と認識しております。	教職員のChromebookに係るMDMライセンスは調達不要です。
12	別紙1_要件定義書	4	県立高校の児童生徒の20%弱は県貸与Chromebookを使用とあるが、29,491人の5,800人ほどが105台のChromebookを共有で使用しているという理解でよろしいでしょうか。	県立高校の生徒の20%弱は、令和2年度にBYOD移行前に購入したChromebookを貸与しています。しかし、令和11年度に同ChromebookはOSのサポート終了を迎えるため、今後の方向性は未定です。
13	別紙1_要件定義書	4	現在の利用において、図2-11の右上に記載のクラウドサービスについて、生徒情報管理システム（スクールネット3）を除き、SAMLやOIDC連携によるシングルサインオン機能は実現されていないという理解でよろしいでしょうか。	ご認識の通りです。 しかし、今回の更改時には、校務系クラウドサービス（kinako、スクールネット3、SchoolEngine）及び学習系クラウドサービス（百問繚乱等）とシングルサインオンを実現したいと考えております。
14	別紙1_要件定義書	4	次期システムの構築において、シングルサインオン連携の実現にかかるクラウドサービス側の作業費用は本プロジェクト対象外でよろしいでしょうか。	クラウドサービス側の作業費用は本プロジェクトの対象外となりますが、各事業者との連携をお願いします。
15	別紙1_要件定義書	5	現行で利用しているアカウントについて、教職員アカウントはM365とGWSの両方を利用し、児童生徒アカウントはGWSのみ利用している認識でよろしいでしょうか。	現在は教職員及び児童生徒に、Microsoft 365及びGoogle Workspaceのアカウントを付与しています。 教職員は主にGoogle Workspace、Microsoft 365のOfficeアプリケーション及びOSライセンスを利用していますが、一部利用者はTeamsやOneDriveも活用しています。 児童生徒は主にGoogle Workspaceを利用していますが、ごく一部の学校ではMicrosoft 365のOfficeアプリケーションも利用しています。
16	別紙1_要件定義書	5	「生徒情報管理システムにおいて利用する組織情報やグループ情報については、Exticとの自動連携を行わず、Microsoft Entra IDへ別途手動登録を実施している」とありますが、EntraIDと自動連携していない理由についてご教示いただけますでしょうか。例えば、システムの連携仕様上の制約によるものなのか、あるいは運用上の判断により意図的に手動登録としているもののかなど、背景をご教示ください。	生徒情報管理システム（スクールネット3）とのSSO連携については、Extic構築後に追加で整備を実施した経緯があります。 このため、Entra IDとの連携に必要なExtic側の改修や運用変更に係るコスト等を考慮し、自動連携ではなく手動登録による運用を採用しています。 なお、本運用はシステム仕様上の制約によるものではなく、導入時の経緯及びコスト面を踏まえた運用上の判断によるものです。
17	別紙1_要件定義書	7	教職員間のICT活用に差があり、Google Workspaceや生成AI等のクラウドサービスが十分に活用されていないサービスも存在すると記載があります。現状、すでに教職員のICTリテラシー向上に向けて実施している施策（研修、展開方法、伴走支援、活用推進体制等）がございましたらご教示ください。	現在は、年1回開催する情報担当者向けオンライン会議において、ICT活用に関する情報提供を実施しています。 一方で、教職員間のICT活用状況には差があることから、今後はより幅広い教職員を対象としたICTリテラシー向上や活用促進を図りたいと考えています。 研修や伴走支援を含めた有効な取組についてご提案ください。
18	別紙1_要件定義書	12	グループAのシステムで取り扱う機微情報が含まれるファイルを教職員端末のローカル内に保存される想定はありますでしょうか。もし保存させる場合は、ローカル内に格納されたファイルに対してファイル暗号化等の情報漏えい対策も必要となる認識です。また端末ローカル内にファイルを保存させる必要がある場合は、当該ファイルの拡散子についてもご教示ください	原則としてクラウドストレージへの保存を想定していますが、業務上、教職員端末のローカル領域にファイルが保存されるケースも想定しています。 対象ファイルは、主にMicrosoft Officeファイル、PDF、画像ファイル、テキストファイル等です。 ローカル保存を前提とした情報漏えい対策を含め、最適な構成をご提案ください。
19	別紙1_要件定義書	12	次期ネットワーク環境では、教職員が利用するメール、チャット、Web会議等のコミュニケーションツールは、gunma1のGWS環境を利用する想定でしょうか。	ご認識の通りです。
20	別紙1_要件定義書	13	SSOの対象として「汎用クラウドアプリ全般へ拡大」とありますが、現時点で利用を想定しているクラウドアプリはありますか。	今回の更改時には、校務系クラウドサービス（kinako、スクールネット3、SchoolEngine）及び学習系クラウドサービス（百問繚乱）とシングルサインオンを実現したいと考えております。
21	別紙1_要件定義書	14	全ての教職員は、EntraIDとGWSの両方にGSNアカウントをお持ちであるという前提でよろしいでしょうか。（EntraIDとGWSで教職員のアカウント数に相違はないという理解でよろしいか）	ご認識の通りです。

22	別紙1_要件定義書	14	さらに、GWSのGSNアカウント数全てをGunma1に移行する前提でよろしいでしょうか。 また、引き続きGSNドメインのGWSを利用するユーザーが残ることはないでしょうか。	ご認識のとおりです。 また、Google WorkspaceのGSNアカウントについては、全てGunma1へ移行する想定です。 現時点では、GSNドメインのGoogle Workspaceを継続利用するユーザーが残る想定はありません。
23	別紙1_要件定義書	15	図2-3のフロー案について、GWSおよびM365に対する認証基盤（IdP）は、Entra IDやGoogle Cloud Identityではなく、IAMをIdPとしてIDプロビジョニングだけでなく、SSO認証を行う想定との認識でよろしいでしょうか。またこの構成を想定している理由などありますでしょうか。	EntraIDとGoogle Cloud IdentityのSSO認証までできることが最も望ましいですが、Gdoorで登録した情報がIDプロビジョニングによりEntraID連携することを実現したいです。 現状、県立学校ではGWSベースの「gunma1」を利用していますが、これ単体ではWindows端末の認証や管理が困難という課題があります。次期ネットワークにおいても、教員のWindows端末管理には引き続き「Entra ID」を利用する想定ですが、GWSとEntra IDをそれぞれ独立して併用すると、ID管理（新規作成・異動・削除など）が煩雑化してしまいます。 既存環境にもGWS（gunma1）からEntra ID（gunma1）へフェデレーションする仕組み自体は存在しますが、これは「0365A1」ライセンスを前提とした仕様となっているため、県立学校のみを対象に「M365A3」のEntra ID環境へフェデレーションすることは困難であることが判明しています。 これらの課題を解決するため、IAMをハブとした連携を模索しています。ただし、図2-3の構成はあくまで検討案の一つですので、より最適な構成や別のアプローチがあれば、ぜひご提案をお願いいたします。
24	別紙1_要件定義書	15	3-3-1に記載の多要素認証は、具体的に何へのアクセスに対する多要素認証を想定されておりますでしょうか。（校務支援システム等）	多要素認証については、要件定義書「図2-1 強固なセキュリティ環境イメージ」におけるグループA及びグループBのシステムへのアクセスを想定しております。
25	RFI依頼書	3	教職員数4,552人に対し、Microsoft A3教職員ライセンス4,923、EPP/EDR・MDM対象端末4,950台と数量が異なります。各数量に含まれる利用者・共用端末・予備端末の内訳、および見積に用いる確定数量をご教示ください。	4,950でお見確認ください。
26	RFI依頼書	3	調達ライセンスとしてはGunma1（Google Workspace for Education Plus）が含まれると認識しておりますが、設計（役務）としての設計作業が想定されるかご教示ください。	認証まわり及びその運用の設計を想定しております。
27	RFI依頼書	3	2.役務 ・既存機器・システム及び本調達機器・システムの撤去 作業対象は、既存機器および本調達導入機器の停止、アンラック、校内指定場所への運搬と機器一覧作成までという認識でよろしいでしょうか。「後日、廃棄事業者による回収」とありますが、該当事業者の手配および回収・廃棄等も本調達の提案範囲に含まれますでしょうか。	ご認識の通りです。 回収、廃棄に関しては、本調達の範囲外となります。
28	RFI依頼書	4	Microsoft A3の児童生徒ライセンスはStudent Use BenefitあるいはM365 A3 for Studentsのどちらかをご教示ください。	Student Use Benefit（ライセンスの特典制度）により、M365 A3 for Students（ライセンスの名称）を割り当てています。
29	RFI依頼書	4	Microsoft A3の表は教職員4,923、児童生徒46,336に対し合計51,060と記載されています。合計値または内訳の正しい数量をご教示ください。	記載誤りです。正しくは以下のとおりになります。 合計：51,060人 教職員：4,724人 児童生徒：46,336人
30	RFI依頼書	5	県貸与のWindows端末には指紋リーダーやIRカメラ等の機能は非搭載でしょうか。	指紋リーダー及びIRカメラ機能は非搭載となります。
31	RFI依頼書	5	学校独自調達PCは詳細不明とありますが、本調達のEPP/EDR、MDM、認証、ヘルプデスクの対象に含まれますか。含む場合は概算台数と最低動作要件（PCスペック）をご教示ください。	学校独自調達は、学校の責任において管理している端末になるためEPP/EDR、MDM、認証、ヘルプデスクの対象外となります。
32	別紙1_要件定義書	6	既存実績の年間約850件とありますが、年度末/年始などの繁忙期の件数がわかればご教示ください。	<2023年GSN繁忙期の件数> 4月89件、5月42件 <2026年GICT繁忙期の件数> 3月52件、4月73件
33	別紙1_要件定義書	13	GdoorからIAM(iDaaS)への接続要件をご教示ください。	現在、GDoorからGWSへAPIで接続していますが、IAMへの接続要件の指定はありません。 連携方式、認証方式、連携可能な情報項目等については、提案システムにおける実現方法と併せてご提案ください。
34	別紙1_要件定義書	15	GoogleDriveで格納される機微情報と公開情報についてアカウント（アクセス権限）もしくは格納領域などが存在するのであれば違いをご教示ください。	機微情報はGoogle Driveの共有ドライブ、公開情報はGoogle Driveのマイドライブへの格納を想定しています。アクセス権限については、情報の機密性に応じて適切に設定する想定です。
35	別紙1_要件定義書	15	P12の図2-11 強固なセキュリティ環境イメージを拝見すると、認証基盤については「多要素認証」「SSO」「リスクベース認証」については調達範囲外のように読み取れますが、3-1には提案を求める旨の記載がございます。認証基盤についての提案がどのような位置づけかをご教示ください。	図2-11の記載が分かりにくく、申し訳ございません。 図2-11は構成イメージであり、認証基盤についても本調達の提案対象としています。 多要素認証、シングルサインオン（SSO）、リスクベース認証を含め、セキュリティ、利便性、運用性及びコストを考慮した最適な構成をご提案ください。
36	別紙1_要件定義書	16	アカウントの年次更新にあたって対象とするべき具体のシステムは、P12の図2-11 強固なセキュリティ環境イメージ に記載の「クラウドシステム一覧」が該当する認識でよろしいでしょうか。	ご認識の通りです。
37	別紙1_要件定義書	22	データ消去対象にはネットワーク機器も含まれますでしょうか？	ご認識の通り、ネットワーク機器も対象に含みます。 ネットワーク機器については、Factory Default（工場出荷状態への初期化）を実施いただく想定です。
38	別紙1_要件定義書	23	令和9年4月～令和10年8月の構築期間における学校での作業可能時間、長期休業期間、停止許容時間をご教示ください。	作業可能時間：休業期間又は勤務時間外の作業を希望しますが、やむを得ない場合はこの限りではございません。（落札後要相談） 長期休業期間：GW（カレンダーどおり）、夏休み期間（7月下旬～8月末） 停止許容期間：半日程度（休業期間中は、終日可とします）
39	別紙1_要件定義書	23	Gunma1にデータを移行すると思いますが、Gunma1側にデータ保管容量の制限等があればご教示ください。	Gunma1へのデータ移行は本調達のスコープ外となりますが、1校当たり1TBになります。
40	別紙1_要件定義書	24	SOC/24時間監視の対象はクラウド、SASE、ネットワーク機器、Windows端末、Chromebookのどこまでにしたいかイメージがあればご教示ください。	SOC/24時間監視の対象については、認証基盤、SASE及びEDRを主な対象として想定しています。 なお、クラウドサービス、ネットワーク機器、Windows端末、Chromebook等については、必須の監視対象とはしていませんが、セキュリティ向上の観点から有効な監視・運用方法があれば併せてご提案ください。
41	RFI依頼書	4	既存機器・システム及び本調達機器・システムの撤去について、契約終了時の将来的な撤去費用まで本RFI見積に含める認識でよいかがご教示ください。 （意図：撤去費用の見積対象時点と責任範囲を明確化し、将来費用の扱いを整理するため。）	ご認識の通りです。
42	RFI依頼書	4	総合教育センターを更改スコープに含めるとありますが、県立学校と同一設計・同一運用とする前提か、センター固有要件があるかご教示ください。 （意図：総合教育センター固有の設計・運用要件を把握し、学校向け標準構成との差異を見積に反映するため。）	総合教育センターについては、校務DX環境は県立学校と同一設計・同一運用を想定しています。
43	RFI依頼書	4	学校独自調達PCの詳細スペックが不明とありますが、MDM、EDR、証明書配布、SASE接続等の対象に含めるかご教示ください。 （意図：管理対象端末の範囲を明確化し、MDM・EDR・証明書・SASE等のライセンス数および運用範囲を確定するため。）	学校独自調達PC分のライセンスについては調達範囲から除きます。

44	別紙1_要件定義書	8	USBメモリの利用は原則不可としつつ「限定的利用ができる環境」とありますが、この環境で想定される具体的な利用シーンや要件（例：オフライン環境でのデータ交換など）についてご教示ください。 （意図：セキュリティと利便性を両立させるための具体的な要件を把握し、実用的なソリューションを提案するため）	USBメモリの利用は原則不可とする想定ですが、外部業者や私立高校とのデータ授受など、相手方の都合によりUSBメモリの利用が必要となるケースを想定しています。 このため、例外的かつ限定的に利用可能な環境を想定しており、具体的な実現方法については最適な構成をご提案ください。 なお、外部の外部業者や私立高校とのデータ授受についてもUSBメモリ以外の方法で実施できる方法があれば、ご提案ください。
45	別紙1_要件定義書	12	構成イメージ案に「XDR」とありますが、これはEDR（端末）とSSE/SASE（ネットワーク/クラウド）のログを統合的に分析・相関分析する基盤を期待するという理解でよろしいでしょうか。 （意図：EDR単体での提案か、より広範なXDR基盤としての提案かでスコープが大きく異なるため）	ご認識の通りです。
46	別紙1_要件定義書	15	現行Exticで管理しているアカウント属性、グループ、ロール、連携先、プロビジョニング項目の一覧を提供いただけるかご教示ください。 （意図：現行ID管理の実態を把握し、新認証基盤への移行・連携設計の前提を整理するため。）	現行のExticでは、アカウント情報のプロビジョニングのみを実施しております。 グループ、ロール等を用いた管理は行っており、詳細な属性一覧等の提供は予定しておりません。 次期環境における最適な管理方式をご提案ください。
47	別紙1_要件定義書	16	証明書の配布対象は、教職員貸与端末、児童生徒貸与端末、BYOD端末、Wi-Fi対応機器のどこまでを想定しているかご教示ください。 （意図：証明書管理対象を明確化し、配布方式・更新運用・ライセンス数を適切に設計するため。）	証明書の配布は必須要件ではありません。 ただし、端末識別やアクセス制御の実現手段として証明書の活用を想定しています。 対象端末の範囲を含め、運用性、セキュリティ及びコストを考慮した最適な構成をご提案ください。
48	別紙1_要件定義書	17	既存機器の流用可否判断について、残存保守期間、性能、サポート期限、設定変更可否などの判断基準があればご教示ください。 （意図：既存機器流用の判断基準を確認し、保守性・性能・リスクを踏まえた提案と見積を行うため。）	既存機器の流用可否については、メーカーサポート期限を主な判断基準とします。 併せて、性能、保守継続性及び提案構成との適合性を踏まえ、流用の可否をご提案ください。
49	別紙1_要件定義書	17	10Gbps未提供エリアについて、対象校一覧、現行回線種別、既存契約の満了時期、回線事業者の指定有無をご教示ください。 （意図：回線更改対象と契約条件を把握し、切替可否・工期・費用を適切に見積するため。）	10Gbps未提供エリアの対象校一覧、現行回線種別及び既存契約の満了時期については、現在回線事業者へ確認を行っているため、現時点では未確定です。 なお現行回線及び契約満了時期については以下のとおりです。 OGICT： ＜現行回線＞ ・IIJ回線マネージメント/Fサービス（金県立高校） ・IIJ FiberAccess/Fサービス（全特別支援学校） ・神流ケーブルテレビ ふれあいネット利用（万場高校） ＜回線満了時期＞ ・令和10年8月末 OGSN： ＜現行回線＞ ・本回線：KDDI 光ダイレクト（全校） ・L B O：フレッツ 光ネクスト オフィスタイプ ライト（全校） ＜回線満了時期＞ ・令和10年8月末 また、回線事業者の指定はありません。 そのため、本RFIにおいては各社の知見を踏まえ、回線提供可否、実現性、費用及び工期を考慮した最適な構成をご提案ください。
50	別紙1_要件定義書	19	SSL復号化の対象範囲について、除外すべきカテゴリ、サイト、アプリケーション、個人情報・金融・医療等の例外条件があればご教示ください。 （意図：SSL復号による業務影響や例外条件を把握し、セキュリティと利便性を両立する制御方針を設計するため。）	SSL復号は原則として実施していますが、復号によりサービスやアプリが正常に動作しない場合は、個別に除外設定を行っています。 現在は、Google、Microsoft、Apple/iCloud、Windows Update、Zoom、Unity、Replit、Amazon S3等の一部通信先を除外しています。 個人情報・金融・医療等のカテゴリを一律に除外する運用ではなく、業務影響やサービス仕様を確認した上で、必要最小限の範囲で例外設定しています。
51	別紙1_要件定義書	19	WindowsおよびChromebookのMDMについて、Intuneを前提とする提案を期待しているか、他社MDMやGoogle管理コンソール等の併用提案も可能かご教示ください。 （意図：MDM製品選定の自由度を確認し、既存ライセンス活用や運用効率化を考慮した提案を行うため。）	Windows端末はIntune、ChromebookはCEUを想定しておりますが、費用対効果の観点で最適な構成があれば、ご提案ください。
52	別紙1_要件定義書	19	EDRについて、24時間365日の監視、インシデント一次対応、端末隔離、復旧支援を含むSOC運用を求めるかご教示ください。 （意図：EDR単体導入かSOC運用まで含めるかを確認し、監視・対応費用と体制を明確化するため。）	EDRについては、24時間365日の監視体制を想定しております。 また、アラート発報時の通知・報告を求めますが、有人によるインシデント対応（詳細調査、端末隔離、復旧支援等）は原則として平日日中の対応を想定しております。 なお、具体的な運用方法や体制については、提案内容を踏まえて協議する予定です。
53	別紙1_要件定義書	20	送信元IP制限が必要となる外部SaaS、クラウドサービス、既存システムの一覧および必要な固定グローバルIP数をご教示ください。 （意図：SASE/SSE設計に必要な固定IP要件を把握し、サービス構成・回線・SaaS接続条件を検討するため。）	送信元IPアドレスによるアクセス制限が必要なクラウドサービスは、概ね5サービス程度を想定しています。 また、SASE/SSE構成において必要となる固定グローバルIPアドレス数は、1アドレスを想定しています。
54	別紙1_要件定義書	20	SASE/SSEの対象利用者は教職員のみか、児童生徒、BYOD端末、校務・授業用Wi-Fi対応機器も含むかご教示ください。 （意図：SASE/SSEの適用対象を明確化し、ユーザー数・端末数・ライセンス数・運用範囲を確定するため。）	SASE/SSEの対象は、原則として教職員が利用する県営与端末を想定しています。 なお、児童生徒端末、BYOD端末及び校務・授業用Wi-Fi対応機器については、SASE/SSEの適用は必須としませんが、Webフィルタリング以上のセキュリティ対策を必須とします。 詳細な実現方法については、最適な構成をご提案ください。
55	別紙1_要件定義書	23	各学校で利用しているNASの容量、利用率、台数およびGoogle Driveへの移行対象データ量をご教示ください。また、事業者を求める移行支援範囲についてもご教示ください。 （意図：移行工数およびクラウドストレージ設計を適切に見積するため）	各学校のNASのデータ移行は本調達の対象外となります。
56	別紙1_要件定義書	24	運用保守における現地対応の対象範囲、対応時間、県内拠点・学校への駆け付け要件、予備機保有要件があればご教示ください。 （意図：オンサイト対応や予備機対応の要否を確認し、運用保守体制と費用を適切に見積するため。）	対応時間：要件定義書記載とおりです。 対象拠点：全学校及び教育センターです。 駆け付け要件：必要に応じてご対応をお願いします。 予備機保有要件：先出センドバックを想定しておりますが、最適な予備機保有要件をご提案ください。
57	RFI依頼書	3	見積対象範囲として、「Google Workspace for Education Plus ライセンス（教職員・児童生徒向け）」の記載がございますが、本調達の範囲に含めることは、コスト増や調達公平性を損なう可能性があるなどデメリットが大きいと考えております。直接現行ベンダーである「滋野提水堂社」様と直接ご契約いただくことは可能でしょうか。	本RFIでは、「滋野提水堂社」からお見積を取得をお願いします。
58	別紙1_要件定義書	1	見積精査のために、現行GICT及びGSNの詳細設計書（論理構成図、AP配置図、IPアドレス設計、VLAN設計、FWポリシー等）について、開示いただけますでしょうか。	AP設置図面、機器台帳、基本設計書については、個別にNDAを締結を条件に提供可能です。 なお、RFPIにて事業者決定後は、必要な資料は提供します。
59	別紙1_要件定義書	6	見積精査のために、現地調査成果物及び既設機器台帳、保守期限情報等をご提供いただけますでしょうか。	AP設置図面、機器台帳、基本設計書については、個別にNDAを締結を条件に提供可能です。 なお、RFPIにて事業者決定後は、必要な資料は提供します。
60	別紙1_要件定義書	6	見積精査のために、Gunma1及び現行認証基盤との連携仕様書をご提供いただけますでしょうか。	連携仕様書はありません。

61	別紙1_要件 定義書		No47（証明書配布対象）およびNo54（SASE/SSE適用対象）に関連して確認させてください。 「MDM管理外の端末（BYOD端末等）」もSASE等や証明書の対象に含まれる場合、システムの重要度に応じた「アクセス制御」と「証明書配布」の境界線（仕分けルール）について、現時点でどのような方針を想定されていますでしょうか。以下のいずれに近いかご教示ください。 方針A システムによる境界線の設定：【推奨・現実的】 「機微情報を扱う校務（グループA等）」へのアクセスは「MDM管理下かつ証明書を配布した県貸与端末」のみに制限し、それ以外の「学習系システムや一般校務」については、BYOD等から「証明書なし＋ユーザー認証（多要素認証等）」のみでアクセスを許可する。 方針B すべて証明書なしでフルアクセス： 機微情報を含むすべてのシステムに対して、端末（MDM有無・証明書有無）を問わず、ユーザー認証（多要素認証等）のみでアクセスを許可する。（端末フリー） 方針C BYODにも証明書を強制しフルアクセス： BYOD等からも機微情報にアクセスさせるため、MDM管理外端末にも証明書を配布し、デバイス認証を行う。 （意図：証明書の安全かつ一括的な配布にはMDMの利用が前提となる。MDM管理外の端末に対しても一律でデバイス認証（証明書）を求めると、現場の導入負荷や運用コストが極めて高くなる。そのため、「どのレベルの情報までを端末フリー（ユーザー単位の制御）で許可し、どこからを管理端末（デバイス単位の制御）に限定するか」という情報の境界線を明確にし、セキュリティ強度と運用実現性のバランスが取れた最適なお見直しを行うため。）	本RFIでは特定の方式を指定するものではなく、要件を満たす最適な構成をご提案ください。 なお、現時点では、機微情報を扱うシステムについては管理端末によるアクセスを基本とし、その他のシステムについては利用者認証を中心としたアクセス制御を行う考え方である「方針A」に近い運用を想定しています。 ただし、具体的なアクセス制御方式、デバイス認証の要否及び適用範囲については、セキュリティ、利便性、運用負荷及びコストを踏まえた最適な構成をご提案ください。
62	別紙2_学校 NW機器、 LAN工事一 覧	—	今回の整備にて購入の必要がある機器は現ネットワーク機器(GICT)に記載のあるルータ・UTM・AP・SWなどとGSNの対象学校のSW、追加機器(AP、SW)の理解で合っていますでしょうか。	ご認識の通りです
63	別紙1_要件 定義書	17	LAN配線について、原則現行を流用とのことですが、「別紙3～5_見積算出モデル校」の資料に記載のある青色(UTPケーブル Cat6A)配線は全て流用という理解で問題ないでしょうか。 また、新設するLAN配線は「別紙3～5_見積算出モデル校」の資料には記載がされていない理解で問題なかったでしょうか。 以下の新設箇所については、別紙2の追加機器の個数から新設するLAN配線を想定し、御見積を実施する理解で問題なかったでしょうか。 ■パターンB：太田フレックスモデル 見積対象範囲は、パターンAに加え、以下のとおりとする。 ・職員室へのLAN配線敷設及びAP新設 ・会議室へのLAN配線敷設及びAP新設 ・体育館へのLAN配線敷設及びAP新設 ・PoEスイッチの増設作業 ■パターンC：前橋工業モデル 見積対象範囲は、パターンBに加え、以下のとおりとする。 ・GSN環境として整備されたPC教室内L2スイッチの更新作業 ・PC教室内の既設LAN配線の更新作業	UTPケーブル（Cat6A）配線については、原則として既設配線の流用を想定しております。 また、「別紙3～5_見積算出モデル校」に記載のない新設LAN配線については、ご認識のとおりです。 なお、パターンB及びパターンCにおける新設LAN配線の対象範囲については、別紙2に記載の追加機器数量等を踏まえてお見積りください。
64	別紙1_要件 定義書	14 15	仕様書にて、アカウント情報の源泉である「Gdoor」からGoogle WorkspaceおよびMicrosoft Entra IDへID・グループ情報連携する際に、「中継IAM」を経由するフローと直接連携するフローの2パターンが示されています。本構成について、コスト最適化およびシステム構成のシンプル化（障害ポイントの削減）を目的として、以下の2点を確認させてください。 ① Gdoorからの直接連携機能の有無について Gdoor側に標準プロトコル（SCIM 2.0等）や、各クラウドの標準API（Microsoft Graph API、Google Directory API）を利用したプロビジョニング機能が具備されている場合、中継IAMを介さずに直接アカウント・グループ情報を連携する構成が可能かと存じます。Gdoorの外部連携インターフェースの仕様（SCIMやAPIへの対応状況）についてご教示いただけますでしょうか。 ② 中継IAMを配置する背景・固有要件について もし直接連携が可能であった場合、弊社としては中継IAMを省略した構成が最もコストパフォーマンスが高いと考えております。中継IAMを経由することが必須要件となっている場合、その背景として「複雑な属性変換（学校特有の年次更新や組織階層のデータ加工など）」や「ネットワーク制約（閉域網とインターネット間の通信中継など）」といった特段の要件が存在するか伺いたします。	① Gdoorからの直接連携機能の有無について Gdoorの外部連携インターフェースについては、APIに連携しています。 ② 中継IAMを配置する背景・固有要件について 中継IAMの経由は必須ではありません。本RFIに示す構成は想定例であり、要件を満たす範囲で、貴社が考える最適な構成をご提案ください。なお、No.23のとおり既存のgunma1環境にもGWS（gunma1）からEntra ID（gunma1）へフェデレーションする仕組み自体は存在しますが、これは「O365A1」ライセンスを前提とした仕様となっているため、県立学校のみを対象に「M365A3」のEntra ID環境へフェデレーションすることは困難であることが判明しています。
65	別紙1_要件 定義書	14	仕様書において、中継IAMの一機能として「証明書発行」が記載されておりますが、証明書の用途と要件の代替可否について確認させてください。 ① 証明書の具体的な利用目的について 発行される証明書の具体的な利用シナリオ（例：校内ネットワーク機器におけるIEEE 802.1X認証用クライアント証明書、特定デバイスの識別・アクセス制御用など）をご教示いただけますでしょうか。 ② クラウド標準機能（またはSaaS型PKI）による代替提案の可否 昨今のゼロトラストネットワーク環境においては、Microsoft Entra ID（クラウドベースのPKI連携）やGoogle Workspace（Chrome Enterprise等のデバイス管理）が持つ証明書配布・管理機能を活用することで、専用のIAMやCA（認証局）を構築せずともセキュアな端末認証が実現可能です。 本RFIの提案において、専用の中継IAMを構築するのではなく、Google WorkspaceやMicrosoft Entra IDの機能群を用いて証明書要件（およびデバイス認証要件）を満たす、コストを抑えた代替構成を提案することは許容されますでしょうか。	① 証明書の具体的な利用目的について 証明書の配布自体を必須要件とするものではありません。 現時点では、主にWi-Fi接続時における端末認証や、セキュアな端末識別・アクセス制御を実現するための利用を想定しています。 なお、同等以上のセキュリティレベルで端末認証や端末識別を実現できる場合は、証明書以外の方式による提案も可能とします。 ② クラウド標準機能（またはSaaS型PKI）による代替提案の可否 ご提案は可能です。 本RFIでは特定の実現方式を指定するものではなく、要件を満たした上で、運用性、拡張性、セキュリティ及びコストを考慮した最適な構成をご提案ください。 本RFIで記載している構成は想定例であり、中継IAMによる証明書発行を必須とするものではありません。 Google Workspace、Microsoft Entra ID、SaaS型PKI等を活用した代替構成を含め、要件を満たす最適な方式をご提案ください。